



# とみせの子

令和7年12月8日

No. 19

柏市立富勢中学校

校長 伊藤 嘉章

## ノーベル賞 アルフレッド・ノーベル

2025年ノーベル賞を二人の日本人が受賞しました。ノーベル賞授賞式は12月10日(水)にストックホルムとオスロで開催されます。日本からは坂口志文さんが生理学・医学賞、北川進さんが化学賞をそれぞれ受賞しました。10年ぶりの日本人によるダブル受賞です。坂口志文さんの受賞理由は免疫反応を抑制する「制御性T細胞」の発見とメカニズムの解明、北川進さんの受賞理由は多孔性の新素材「金属有機構造体(MOF)」の開発です。さて、ノーベル賞とは。なぜ12月10日に授賞式が行われるのでしょうか。

アルフレッド・ノーベル。アルフレッドは、1833年10月21日に生まれました。この中に知っている言葉が入っていますね。そうです、ノーベル賞のノーベルです。

ノーベル賞とは、このアルフレッド・ノーベルという人を記念して作られた、世界最高の賞と言われています。では、ノーベル賞はどのようにできたのでしょうか。アルフレッドは、ダイナマイトを発明して、たくさんの利益を得ました。ダイナマイトとは、大きな工事をするときに山やいらなくなった建物を爆破するために必要なものです。しかし、ダイナマイトがそのような使い方ではなくて、武器として戦争などに使われることをアルフレッドは、とても心配していました。

アルフレッドは自分の死が近づいたとき、ノーベル賞を作ることを遺言に書きました。そして、アルフレッドの死後に「人類に対して、最大の貢献をした人物」にノーベル賞を授与することになりました。

1896年12月10日、63才でアルフレッドは亡くなりました。そして、この亡くなった12月10日に、スウェーデンのストックホルムとノルウェーのオスロでノーベル賞の授業式が行われます(第1回は1901年12月10日)。

ちなみに、ノーベル賞には全部で6種類ありますが、その中で、ノーベル平和賞だけがノルウェーで授与され、その他のすべてはスウェーデンで授与されます。どうしてなのか調べてみるのもいいですね。

## 冬の交通安全運動実施 12月10日～12月19日

年末は重大交通事故の多発が懸念され、一層の注意喚起が必要な時期であるため、令和7年12月10日(水)から12月19日(金)までの10日間は冬の交通安全運動実施期間となります。「備えあれば憂いなし」。「備え」とは準備ということです。「憂いなし」とは、心配はいらないということです。何か事件や事故、火事や地震が起こる前から予想して、それに対する準備をしっかりしておけば、心配はいらない、大丈夫という意味です。★「危険予知能力」「危険回避能力」自分の命は自分で守る!



内閣府 交通安全イラスト集より